

「志を立てて、以て万事の源となす」

講演 「学校で起きうる法律問題 ～学校事故から働き方改革まで～」 清水法律事務所 弁護士 清水 幹裕 氏



学校で事故が起こった場合、その事故が予見できるものか、できないものかによって、学校の過失の有無が判断される。子供の生命、身体の安全に関する裁判所の態度は厳しいものであり、個人情報の保護に留意しながら、学校全体で情報を共有して、学校全体で対応することが重要である。

法律とは少し離れるが、私が高校野球の審判をして得た感想の1つを話したい。それは、人間の本当の価値とは、「負けた時、失敗した時に、どのように頑張っ立ち直っていったか。」ということではないか。先生方には、粘り強く頑張る子供を育てていただきたい。日本の未来は、教育にかかっている。先生方には、福岡県の子供たちのために、是非頑張ってください。

塾生からの声

- 学校現場では、様々なことが起こります。そこで、先生方と「学校事故が起こらないように注意を行き届かせていくこと」を共通理解していきたいです。そして、「生命、身体の安全」を大切にしていける学校にしていきたいです。
- 生徒指導を行う場合は、一人で抱え込まずにチームで指導に当たる体制づくりをしていきたいと思ひます。特に学校事故においては、プロとしての責任があることを自覚し、安全配慮に努めながら指導を行っていきます。
- 学校事故と法律、生徒指導に関する法律問題について、具体的に学ぶことができました。授業をはじめ、あらゆる学校生活について、法律との関連を考えていきたいです。
- 生徒にとって事実上逃げがたい日常生活的な学校活動ということを念頭に、生徒の身体、生命の安全を脅かすような出来事に今以上に敏感であること、生徒の成長発達段階を十分考慮し、安全配慮義務を徹底すること、生徒は校則の適用を受ける側であり、校則は生徒を元気にしていくものであることを忘れずに指導を進めていきたい。
- 今の子供たちに必要な「がまん、規律、思いやり」を学校の教育活動で、どのように身に付けさせていくか、しっかり考えたいと思ひます。

企画・運営研修 「拓 (TAKU)」

「塾生による、塾生のための研修を企画・構想しよう！」
教育センター 指導主事 井口 環



塾生からの声

- 日頃一緒に仕事をしている先生方ではなかったが、共感できることが多く、子供たちに身に付けさせたい力について共有でき、少しずつ一体感が出てきた。職場でも自分の思いを発信し、より一体感をもって指導に当たってきたい。
- 先生方と学びを共有することができました。様々な先生方の視点を融合していくことで、研修の企画がどんどん深まっていく実感を味わうことができました。2学期から勤務校でも多くの先生方と意見交換し、ともに楽しい学校づくりに必要な資質・能力を考えていきたいと感じました。
- 塾生による研修の内容について、なかなか深めることができなかったため、今後グループ内で連絡をとり、他の塾生にとっても実りある研修にしていきたい。
- 自分自身の教育活動でSDGs17の項目のどれにあてはまるのか、またこれから先の未来課題にあたっていく子供たちを育成していく中で、どんな力を付けさせていかなければいけないかを意識しながら取り組もうと思ひました。
- SDGsをテーマに研修を考えましたが、自分で研修を催した経験がないので、グループの話し合いは有意義でしたし、今後の取組が楽しみです。

令和4年度福岡教師塾 (第4回)

令和4年8月5日 (金) 実施

福岡県教育センター